

名古屋徳洲会総合病院  
大垣徳洲会病院  
心臓血管外科 術後の会 会報

# ハート通信

33号

術後の会報告	2P
心臓の検査について(検査科)	3P
心臓のお薬について(薬局)	4~5P
術後体験記	6~7P
ご挨拶	8P



## 第20回 心臓血管外科 術後の会 報告

～長良川温泉 岐阜グランドホテル～

2019年10月6日(日)、20回目となる心臓血管外科術後の会を長良川温泉岐阜グランドホテルにて開催致しました。

患者さんやスタッフなど総勢230名ほどが参加しました。ホテル到着後は、医療講座と専門スタッフによる医療相談会を行いました。その後は、温泉入浴や、アロマハンドマッサージで癒しの一時を過ごして頂き、昼食ご宴会では、マジックショーやコーラスグループ“Sweet Voice”によるコンサートを楽しんで頂きました。また、昨年からはまった大好評のお楽しみ抽選会では、当選した患者さんやご家族さんから体験談などのスピーチをして頂きました。

今年も皆様のお元気な様子を伺うことができました。来年も、この術後の会で再会することをお約束して散会いたしました。

術後の会事務局



## 心臓血管外科 術後の会 医療相談会報告

医療相談会では、術後の生活で不安に思っていることや、今後どのような事に気を付ければいいのかなど、悩みや疑問をお持ちの方が多くみえました。今回は、様々な質問の中で回答させていただきました一部をご紹介します。



**質問** 名古屋徳洲会総合病院でもTAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)は行っていますか？

**回答** 当院でもTAVIを行っています。



**質問** 5年前にバイパス手術を受けました。足のしびれが強く、歩くのにも支障が出ている状態です。これはバイパスで足の血管をとったことが原因と考えられますか？

**回答** 下肢の表面にある静脈をとっているため通常は大きな支障はありません。手術で切開するために神経に多少の損傷が起こることもありますが、ほとんどが手術直後に出る症状です。術後5年も経過している場合は脊椎に異常がある可能性があります。異常が血管か骨のどちらにあるか、検査のために受診することをお勧めします。



**質問** 心臓血管外科の手術を受けて10年が経ちました。今後はどういったことに気を付けたらいいですか？

**回答** 術後長期間が経過し、息切れなどの症状が無ければ心配は少ないと思います。今後も定期健診をしっかり受けてください。

**質問** 身体の所々を、ぶついたりすると青あざができやすいのですが、血管を丈夫にすると改善されるのでしょうか？

**回答** 皮膚出血の原因は大きく2つあります。1つ目は血液が原因で出血が止まりにくい場合ですが、抗血小板薬の調整で改善が見込めます。2つ目は加齢により皮膚や毛細血管が弱くなっている場合です。ビタミンCやたんぱく質を摂取していただくと皮膚の結合力がアップします。



**質問** 左手の親指と人差し指に冷感としびれがあります。どのような事に気を付ければいいですか？

**回答** 症状が足に出る場合は血管の異常も考えられますが、手に神経症状が出る場合は頸椎の異常による可能性があります。整形外科への受診をお勧めします。

## 生理検査で行う

### 動脈硬化のスクリーニング検査



検査科 技師長  
鶴田 隆一

#### はじめに

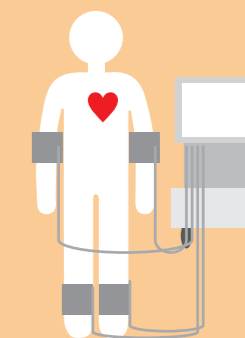
動脈硬化とは、動脈の壁が厚くなったり、硬くなったりして本来の構造が壊れ、働きが悪くなる病変の総称です。動脈硬化は、粥状(じゅくじょう)硬化、細動脈硬化、中膜硬化に分類できます。中でも粥状硬化は、大動脈、脳動脈、冠動脈など比較的太い動脈に起こる動脈硬化で、動脈の内膜にコレステロールなどの脂肪からなる粥腫(じゅくじゅ、アテローム)ができ、次第に動脈の内腔が狭くなります。さらに、粥腫が破れると血栓がつくられ、動脈は完全にふさがります。これが原因で狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、大動脈瘤、手足の壊死などの命に関わる病気が引き起こされます。

しかし、動脈硬化には自覚症状がほとんどなく、症状が出たときには重症化していることが多いのです。手遅れにならないようにふだんから血管の状態をチェックすることがとても大切です。

血管の検査には血液検査やエコー、レントゲンなどがあります。今回は生理検査で行っている動脈硬化スクリーニング検査のABI・PWVと頸動脈エコーについてお話します。

#### ABI検査

ABI検査は上肢と足首の血圧を測定してその比を計算します。正常では足首の血圧の方が上腕の血圧より高いですが、動脈の内腔が非常に狭くなると足首の血圧が上腕の血圧より低くなります。ABI検査は、血管の詰まり具合の目安になります。



#### PWV検査

PWV検査は心臓から押し出された血液の拍動の伝わる速さを調べる検査です。血管の壁が硬いほど拍動は早く伝わるという性質があります。PWV検査は、血管の硬さの目安になります。

#### 頸動脈エコー

動脈硬化は体中のどの血管でも起こりますが全ての血管を検査することは難しいです。そこで、動脈硬化が起こりやすく体の浅い位置にあり検査しやすい頸動脈を検査することにより、全身の血管のおおよその状態を把握することができます。

検査は超音波によって血管壁の厚さや粥腫の有無、血液の流れ具合を検査します。

#### おわりに

動脈硬化の危険因子には、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、ストレス、肥満など、生活習慣と深い関わりがあります。

気になる方は、主治医に一度ご相談ください。



薬局主任  
箱家 優子

心臓血管外科病棟の薬剤師は、入院患者さんへのお薬の効果の説明や副作用が起こっていないかの確認など、安心してお薬を使って頂けるように努めています。お薬に関するご質問などがありましたら、お気軽にご相談下さい。

## はじめに

心臓血管病の中でも狭心症、心筋梗塞、大動脈弁狭窄、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症の原因は動脈硬化(動脈の血管壁が厚くなったり、硬くなったりして血液の流れが悪くなる症状のこと)がほとんどです。高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満などの生活習慣病をコントロールすることが心臓血管病の予防でも大切なことです。

今回は、脂質異常症の治療薬についてご紹介させていただこうと思います。

# 薬 局

## 脂質異常症の 治療薬



### ※ 治療薬についての補足

家族性高コレステロール血症の場合には注射薬が使用されることがあります。また、スタチン系製剤と小腸コレステロールトランスポーター阻害剤が合わさったアトーゼット配合錠、ロスゼット配合錠もあります。

右記お薬以外にも様々な脂質異常症の治療薬がありますが、今回は心臓血管外科でよく使用される種類のみご紹介しております。

### ※ お薬を飲む時の注意点

- ◎ 一時的に脂質の数値が下がっても、自分の判断で服用を止めたりすると、数値は戻ってしまいます。
- ◎ お薬を飲み忘れても、2回分をまとめて飲まないでください。
- ◎ お薬の効果を出すために、また副作用を防ぐためには、医師に指示された通りの時間に、指示された通りの量のお薬を飲み続けることが大切です。

## 脂質異常症とは？

悪玉コレステロール値や中性脂肪値が増加した状態や善玉コレステロール値が減少した状態をいいます。(※悪玉コレステロールは、余分なコレステロールを血管の壁に沈着させ、動脈硬化を起こしますが、善玉コレステロールは逆にその血管内にたまったコレステロールを肝臓へ戻すように働きます)



## 脂質異常症の治療について

まず、3～6ヵ月食事療法や運動など生活習慣の改善を行います。その結果、脂質の値が目標値まで下がらず、冠動脈疾患の危険因子が多い場合には、薬物療法が検討されます。

薬物治療はコレステロールや中性脂肪が多い状態を治すものではなくコントロールしていくものです。検査値が良くなったからといって自己判断で服用を止めたりしないで下さい。基本的にお薬の服用を始めた場合は、生活習慣の改善を行いながら一生続けていくものと考えて下さい。なお、目標値に関しては医師にご確認ください。

## 脂質異常症の治療薬の種類と、作用

### ○ スタチン系製剤(HMG-CoA還元酵素阻害薬)



【代表的な薬品名】

メバロチン、リポバス、ローコール、リピートル、リバロ、クレストールなど

【効果】

肝臓のコレステロール合成をHMG-CoA還元酵素阻害作用により阻害することで、血液中のコレステロールを低下させ、血清脂質を改善させます。通常、脂質異常症、家族性高コレステロール血症の治療に用いられます。

【副作用】

筋肉痛、かゆみ、発疹、蕁麻疹などがあります。

### ○ 小腸コレステロールトランスポーター阻害剤



【代表的な薬品名】

ゼチーア

【効果】

小腸壁細胞にあるタンパク質を介してコレステロールおよび植物ステロールの吸収を阻害し、肝臓のコレステロール含量を低下させ、血液中のコレステロールを低下させます。通常、高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症、ホモ接合体性シトステロール血症の治療に用いられます。

【副作用】

便秘、発疹、下痢、腹痛、腹部膨満、吐き気・嘔吐などがあります。

### ○ フィブラート系製剤



【代表的な薬品名】

ベザトールSR、リピディル、トライコア、クロフィブラート、パルモディアなど

【効果】

血漿中のコレステロール、トリグリセライド(中性脂肪)濃度を低下させます。通常、脂質異常症の治療に用いられます。

【副作用】

胃部不快感、吐き気、筋症状、発疹、黄疸などがあります。

### ○ EPA製剤



【代表的な薬品名】

エパデール、ロトリガなど

【効果】

血液中の脂肪分(コレステロールや中性脂肪)を低下させます。

【副作用】

発疹、かゆみ、下痢などがあります。

# 術後体験記



M.Oさん 77歳 男性

9月2日に冠動脈バイパス術を受けて早や数ヶ月が経ちました。中津川にある病院で肺の1年ぶりの予約診察で心臓血管の大事なところが詰まっていると診断され、何か分からない状態で、名古屋徳洲会総合病院に紹介されて、診察して頂いた結果、すぐに手術という事になりました。本当に何が起きているのか分からないうちに手術も無事に終わって、術後の経過もよく、先生方や看護師さん、皆様のお蔭で無事退院することができました。

退院してからも体調は良く、自宅の横の畑で野菜の収穫や、日本蜜蜂の世話などを行っています。建築大工ですので、手術前に仕事をしていたお客さんに頼まれて、簡単な仕事を少しずつできる様になりました。

無理をしない程度に身体を動かしています。救って頂いた命を大切に生きていきたいと思っています。本当にありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。



H.Kさん 59歳 男性

3年前、仕事に胸が苦しめられる症状があり、自宅近くの病院で診察を行ったところ狭心症の症状でステント手術が必要だと診断され手術を行いました。術後の経過は良くなり、仕事にも復帰。1日1万歩を目標に仕事に励んでいました。しかし、胸の痛みは突然に起こりました。あの狭心症の痛みです。3年間一度も症状がなかったのも私も家族もびっくりでした。令和元年10月22日から検査入院、その後、冠動脈バイパス術を行うことになり、心臓の病気・治療に特化した病院で手術した方がいいと思い、名古屋徳洲会総合病院の心臓血管外科での手術を決めました。

冠動脈バイパスの手術は無事終わり、その後、ICUの看護師さん達には本当にお世話になりました。術後ICUに来た時には、人工呼吸器の管が入ったままで、数時間後麻酔が切れて意識が戻った際、「早く取りたいね、この管」と声を掛けられました。本当にその思いが強かったので、声を出せない患者の思いを良く理解されており、感心しました。

5日間、ICUで看護して頂きありがとうございました。



K.Kさん 78歳 女性(娘さんより)

昨年、母の手術をしていただきありがとうございました。大橋先生をはじめ、先生方、看護師さん、リハビリや、受付の方々、病院内すべての方々の患者さんに対する対応が親切で温かく素晴らしかったと母共々感じました。

この大きな病院で、全スタッフの方々が一体となり患者さんに接する姿は本当に素晴らしいと思いました。大変なお仕事ですが、これからも頑張ってください。

本当にありがとうございました。感謝いたしております。



M.Kさん 73歳 男性

11月29日朝7時頃、その日も普段と同じく4時半に起床、いつも通り日常生活を送っていましたが、何の前触れもなく、かつ自覚症状もなかった私は突然、カメラのシャッターが上から下に降りたかのように目の前が真っ暗になり、2階にいた妻の名前を叫び、倒れました。その後は意識不明で全く覚えていませんが、それを聞いた妻は階段を下りてきて私を椅子に座らせ、いつもとは違う様子だと判断し、救急車を呼んだとの事です。

妻の話では、救急車で近くの病院に運ばれ、CT等の検査を受けたところ、急性A型大動脈解離と診断され、直ぐに名古屋徳洲会総合病院に転院搬送され、緊急手術が行われたとの事でした。搬送中の救急車には、岡田先生が付き添っており、適切な処置、指示、説明をして下さったことで安心できたとの事です。

意識が戻ったのは倒れてから4日目でした。そこで初めて病名や、手術、命の危険性があったことを知りました。そして5日目の朝10時に一般病棟に移りました。意識が戻ってから痛みはなく、順調に回復しました。(予定より早く退院できそうでしたが、鼠径部が左創部リンパ腫ということで、12月19日にリンパ管焼灼術を受けたため、長期入院し、お正月を初めて病院で過ごしました。)入院中は体力回復を目的とし自転車こぎを中心にリハビリにも励みました。ICU及び3階病棟では、先生方をはじめ、看護師さん、スタッフの方々に大変お世話になりました。有難うございました。

今後は今まで以上に健康に気を付け、スポーツジムに通いながらリハビリに精を出し、衰えた体力の回復に努めるとともに、これまで行ってきた社会的活動および趣味に取り組みたいと思います。



※注意)お写真は体験記の方とは無関係です。

## ご挨拶

名古屋徳洲会総合病院  
心臓血管外科 総長

大橋 壯樹



今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、社会、生活、仕事に様々な影響が出ていますが、皆様お変わりはありませんでしょうか。

先日、87歳の心臓手術後の患者さんを診察させていただきました。20年前に心臓が止まりショック状態となり人工心肺装置を装着したまま緊急手術を受けられ、奇跡的に回復されたことを昨日のように思い出しました。昨年、別のご病気になり心配いたしました。回復され非常にお元気な姿で来院されました。人生を長らく過ごすことができた喜びの言葉をいただき、健康、生命は人生を左右する最も大事なものであることを感じました。

その反面、手術をされその後重篤な合併症、後遺症を残されたり命を落とされた患者さんも少なからずおられます。この仕事をさせていただく中で最も悲痛で苦しい瞬間でもあります。今後手術をする患者さんにはさらに安全で有効な治療ができるようにという思いで頑張っ参ります。

## ご挨拶

大垣徳洲会病院  
心臓血管外科 部長

大城 規和



当院は2019年4月から名古屋徳洲会心臓血管グループの1施設として診療を始めました。

昨年手術件数は68件(2019年4月～12月)であり、心拍動下冠動脈バイパス術、大動脈瘤・大動脈解離手術、弁膜症手術、腹部大動脈手術などの心臓大血管手術をはじめとし、重症下肢虚血や血液透析シャントトラブル(血栓除去や内シャント造設)などの末梢血管手術、下肢静脈瘤手術を担当させて頂きました。地域の先生方や多くのスタッフの協力により安全な手術と周術期管理を行う事ができ心から感謝しております。4月から弁膜症に関して肋間小切開で行う低侵襲手術(MICS)、下肢静脈瘤に関してはラジオ波によるカテーテル低侵襲治療を積極的に行っていく方針であり、地域の皆様の期待に幅広く対応できると考えております。

## ご挨拶

心臓血管外科術後の会 会長

橋口 順子



春寒ようやくゆるむ候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。毎々格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。私事ではありますが、今年の2月に少し調子を崩したこともあり、今後の活動において皆様に、ご迷惑をお掛けするかもしれぬ事を先にお詫び申し上げます。しかし、続けられるうちは精一杯務めさせていただきますので宜しくお願い致します。

さて、昨年は第20回 心臓血管外科術後の会を岐阜市にて開催することが出来ました。企画も盛り沢山で、会場は終始皆さんの笑顔であふれておりました。そのような「心臓血管外科術後の会」は、私にとって大変誇らしく思っております。これからも私たちが安心して術後の生活を送ることができるよう、名古屋徳洲会総合病院の益々のご発展をサポートできたらと思います。